

世或の物語

2011-2012

世田谷パブリックシアター



初めまして
三茶くんです

何か面白いこと
ないかなあ?

お!
なんだこれ?



演劇づくりを通して
地域を見つめるよ!

わあ! 楽しそう
やってみようかな

そこには色んな人がいた

まだ
学生です
二年目です

退職して
子育て中

運動が
大好き

役者を
目指しています

ネットワークを
作りたい



まずは世田谷の町を歩いたり

この道は昔
川だったんだ!

へえ
知らなかったね

地元の人にインタビューをします

お店を始めて
何年目ですか?

新参者だから
まだ50年だよ



そこでは新しい発見があるでしょう

面白そうな建物も
沢山あるね!

みつけたことをどう表現するか
みんなでもとめます

まずはみんなで
動いてみよう!

それから...



参加者全員が
劇場で発表!

今まで知らなかった
地域が見えてくる!

それがワークショップ
世或の物語

世田谷の物語 とは?



世田谷を歩いて取材し、地域を見つめ直し、さまざまな物語を掘り起こし、演劇やダンス作品をつくりあげるワークショップです。つくりあげた作品は、「地域の物語」として、シアタートラムで発表します。作品をつくるだけでなく、作品をつくるプロセスを通じて、参加者と観客の人たちが出会ったり、色々な考えや思いを共有していくことも目指しています。

今年のキーワードは「1960年代の世田谷」

経済成長率が毎年10%を超え、高度経済成長期を迎えていた1960年代は、東京オリンピックに向けてのインフラ整備が急ピッチで進められ、東京の風景ががらりと変わった時期です。東海道新幹線も開通し、ウルトラマンシリーズも始まりました。しかし、こうした明るい未来を感じさせる出来事と同時に、住宅・上下水道・環境汚染といった都市問題を数多く抱えていました。今回設定された3コースは、そんな1960年代の記憶やモノを手がかりに、現在から過去、過去から現在への時間の旅へと出かけます。そのときどきまつわる人々の思いや出来事、取材をした相手、自分、そしてみんなで考えたこと、感じていることにじっくり向き合いながら、作品をつくっていきます。

みなさん、お気に入りのコースを見つけて、一緒に私たちの「地域の物語」をつくりあげていきませんか？

進行役紹介



すずきこ一た

ワークショップ・ファシリテータ。演劇デザインギルド。地域の物語ワークショップに初年度アシスタントとして参加、2年目以降は毎年進行役を務める。世田谷パブリックシアターの年間契約ファシリテータとして多くのワークショップを進行。劇場以外でも子どもたちや在日外国人の人たちと数多くの演劇づくり、ワークショップを行っている。

A



吉田小夏

劇作家、演出家、俳優。青☆組主宰／青年団演出部所属。2001年に青☆組を旗揚げ。『雨と猫といくつかの嘘』等、4作品で日本劇作家協会新人戯曲賞に入賞。その作品群は、人間の営みへの温かいまなざしと音楽的な台詞が特徴とされ、幅広い年齢層の支持を集める。時代に流されない普遍性を大切に、瑞々しく繊細な対話劇を追求している。

B



瀬戸山美咲

劇作家、演出家。ミナモト主宰。フリーライターとしても活動中。細やかな取材と入念なりサーチに基づいた作品づくりをおこなう。2011年1月、振り込み詐欺集団の内情を描いた『エモーションナルレイバー』をシアタートラム・ネクスト・ジェネレーション vol.3 にて上演。9月には福島県に足を運んで作ったドキュメンタリー演劇『ホットパーティクル』を発表。

C



山田珠実

振付家、ダンサー。1968年生まれ。各地の劇場、小学校等、公共施設におけるダンスワークショップや、誰もが参加できるダンス作品の創作を主な仕事としている。また、演出家 細見佳代と共に高齢者に聞き取り取材する「わたしの道」プロジェクト等、ジャンルを超えた活動も多を行う。愛知淑徳大学非常勤講師。

Aコース 「1(いち)からコース」

コースの特色

- ・まちに出かけてみて、1960年代を生きてきた人に話を聞いたり、地図や写真を見ることから始まります。
- ・演劇づくりを通して、過去や今の地域のことを、からだや声で考えます。
- ・作品のテーマを参加者と進行役が共に探し出し、演劇をつくります。

演劇を作るのは難しいことでしょうか？

難しいとすれば、それはお料理やケーキ作りに似ているかもしれません。

お店屋さんのように、美味しいケーキを商品として365日作り続けることはとても難しい。でも、ホームメイドの手作りケーキや、ママの特製料理の特別な美味しさを知っている方は、沢山いるはず。誰もがシェフになる日があるように、誰もがアーティストになることは可能です。それが、演劇の醍醐味。そんな手作りの演劇を、体験してみませんか？

このコースでは、皆さん自身の手で、材料(モチーフ)からレシピ(台詞や構成)まで、全ての工程に参加していただきます。初めて演劇ワークショップに参加する方にも個性を発揮していただけるよう、五感を使って取り組める様々な工夫をしています。

私達と一緒に、ぜひ最初の一步を。この町で。(吉田小夏)

進行役からのメッセージ



進行役：すずきこた(ワークショップ・ファシリテータ/演劇デザインギルド)
吉田小夏(劇作家、演出家、俳優/青組主宰)

1960年代の写真や地図をからだで読み取ることから始め、まちに出ていきます。ずっと残っているお店、無くなった道、暗渠、当時の出会いや別れの話。そうしたものを集め、並べ、ちょっとひいて見つめ直し、からだや声を使って考えてみる。それは1960年代を生きてきた人たちの思い、地域をつくってきた人たちの繋がりを見つける作業と言えるかもしれません。

3.11の震災の直後、同じマンションに住む方に鍋に入ったままの煮物を頂きました。2年近く住んでいて初めてのことでした。驚きと同時に「ここで暮らしてるんだ」と思いました。震災直後はそういった「地域」を意識する人が多かったように感じます。行政が決めた区分けではなく、人と人との繋がり「地域」を。

1960年代を見つめ今を見直し、演劇してみ、意見交換をして、まちや自分を発見する。「1から」自分たちでつくる演劇は、困難も多いかもしれませんが、楽しそうだと思いますか？(すずきこた)

ワークショップ日程

2011
|
2012



	日にち	時間	内容
1	11月26日(土)	13:00 ~ 17:00	「知り合う」
2	27日(日)	11:00 ~ 17:00	「まちを歩く1」
3	12月3日(土)	13:00 ~ 17:00	「取材先を考える・まちを歩く2」
4	4日(日)	11:00 ~ 17:00	「取材1」
5	11日(日)	11:00 ~ 17:00	「取材したことを紹介しあう・忘年会」
6	1月14日(土)	13:00 ~ 17:00	「取材したことを演劇にしてみる」
7	15日(日)	11:00 ~ 17:00	「これまでをふりかえり今後を考える」
8	29日(日)	11:00 ~ 17:00	「取材2」
9	2月12日(日)	13:00 ~ 17:00	「取材3」
10	19日(日)	13:00 ~ 17:00	「グループ作業1」
11	3月3日(土)	13:00 ~ 17:00	「グループ作業2」
12	4日(日)	11:00 ~ 17:00	「グループ作業3」
13	17日(土)	13:00 ~ 17:00	「中間発表」
14	18日(日)	11:00 ~ 17:00	「グループ作業4」
15	23日(金)	19:30 ~ 21:30	「リハーサル」
16	24日(土)	11:00 ~ 17:00	「リハーサル」
	25日(日)	時間未定	シアタートラムで発表
	4月15日(日)	時間未定	上映会&ふりかえり



B コース 「1964 消えた○△□」

コースの特色

- ・1960年代以降に消えていったモノを、みんなで町に出て探しにいきます。
- ・町で見つけてきたあれこれをもとにコラムや記事を書き、人に伝えていきます。
- ・これらをまとめて劇作家 瀬戸山美咲がつくった台本をもとに演じます。

進行役からのメッセージ



進行役：瀬戸山美咲（劇作家、演出家／ミナモト主宰）

“想像力”は演劇の源です。でも、実は“想像”には限界があります。どうしても知っていることや見えているものの枠を超えられないことがあります。たとえば、私たちはコンセントの穴の先にあるものを忘れていました。だから、それがあけなく壊れてしまうイメージを持ってませんでした。食べている肉がどうやって作られているかもよく知りませんでした。だからエサに問題があることも想像しませんでした。でも、一度知ってしまえば、一度出会ってしまえば、私たちはひとつ限界の壁を超えることができます。想像の羽根をいっぱい広げられます。そして、その“想像力”は現実をも変える力があります。今、日本中の人が途方に暮れています。でも、あきらめないで想像することが大切だと思うのです。そして想像するためには、外に出て、「出会い」「見て」「聞き」「心動かされる」ことが必要なのです。汚いもの、面倒くさいものは隠されてしまうのが現代です。かつて世田谷には遊郭がありました。ぼろぼろの産屋もあったし、ホームレスのおじさんも今よりもっといました。野良犬だっていたでしょう。最近の世田谷はとでもクリーンです。東京全体が大きな変身を選じた1964年の東京オリンピックの頃。あの頃に消えたもの、隠されたもの、見えなくなったもの。そんなものが、私たちに教えてくれることもあるかもしれません。それと一緒に探しにいきませんか。（瀬戸山美咲）

ワークショップ日程

2012



	日にち	時間	内容
1	1月21日（土）	13:00～17:00	「人の話を聞く、人から聞いたことをさらに人に伝える」
2	28日（土）	13:00～17:00	「町に出る1」
3	2月4日（土）	13:00～17:00	「見たもの聞いたもの感じたことを人に伝える1」
4	11日（土）	13:00～17:00	「町に出る2」
5	18日（土）	13:00～17:00	「見たもの聞いたもの感じたことを人に伝える2」
6	25日（土）	13:00～17:00	「町に出る3」
7	26日（日）	13:00～17:00	「見たもの聞いたもの感じたことを人に伝える3」
8	3月10日（土）	13:00～17:00	「演劇づくり」
9	11日（日）	13:00～17:00	「演劇づくり」
10	17日（土）	13:00～17:00	「演劇づくり」
11	18日（日）	13:00～17:00	「演劇づくり」
12	23日（金）	19:30～21:30	「リハーサル」
13	24日（土）	11:00～17:00	「リハーサル」
	25日（日）	時間未定	シアターラムで発表
	4月15日（日）	時間未定	上映会&ふりかえり



C コース 「カラダの未来」

コースの特色

- ・取材をしたり、テキストを書いたり、動きを作ったりしながら、ダンスパフォーマンス作品を創ります。
- ・時代によるカラダの変化に注目しながら、これからの未来のカラダを想像します。
- ・平日昼間のワークショップです。子育て中の方、仕事をリタイアされた方大歓迎。

進行役からのメッセージ



進行役：山田珠実（振付家、ダンサー）

私たちのカラダは刻々とつろつろしています。遺伝子が書いた台本にしたがって、生まれてすぐのカラダはみるみる変わります。1年もすると歩けるようになり、17年後にはその人特有の体型のようなものができ、それから先の変化はそれまでに較べると見えにくいものになっていきます。また、年齢とともにカラダの動きは少しずつ小さくなり、老年期には歩くことに困難を感じる人も増えてきます。当たり前のことですが、カラダはその歴史を終えて骨になるまで、変化を止めることがありません。そして、そうした変化は、食文化や生活様式、その人のこころのあり方からも大きな影響を受けています。

1960年代、人々はどんなカラダで遊び、どんな風に食べ、どんな声で笑っていたのでしょうか。そして40～50年を経た今、私たちのカラダはなにを喜び、なにを苦しみ、なにを手に入れ、なにを失ったのでしょうか。過去の映像やデータと、現在の自分自身のこころとカラダを丁寧に見つめることで、わたしたちの「カラダの未来」について想像していきます。

このコースでは、資料にあたりたり、高齢者のお話を聞いたりしたあと、作品で使う文章を書いたり、ダンスの動きを考えたりします。進行役がそれらをもとに全体の構成案を作り、全員でこぼとカラダによるダンスパフォーマンス作品を作りあげます。とんだり跳ねたりできなくても、大丈夫。すべてのカラダにそれぞれの未来があります。リラックスして参加してください。（山田珠実）

ワークショップ日程

2012

	日にち	時間	内容
1	1月20日（金）	9:30～12:00	「顔合わせ」
2	26日（木）	9:30～12:00	「カラダのベースづくり」
3	27日（金）	9:30～12:00	「動きのモチーフをつくる」
4	2月10日（金）	9:30～12:00	「取材」
5	23日（木）	9:30～12:00	「取材から動きのモチーフをつくる」
6	24日（金）	9:30～12:00	「前日の練り直し」
7	3月2日（金）	9:30～12:00	「作品の全体について考える」
8	15日（木）	9:30～12:00	「部分的な練習」
9	16日（金）	9:30～12:00	「部分的な練習」
10	23日（金）	9:30～12:00	「リハーサル」
11	24日（土）	9:30～12:00	「リハーサル」
	25日（日）	時間未定	シアタートラムで発表
	4月15日（日）	時間未定	上映会&ふりかえり



各コースについて

各コースとも、3月25日(作品発表)+4月15日(上映会&ふりかえり)にもご参加頂きます。

Aコース

1 (いち) からコース

【進行役】 すぎきこーた(ワークショップ・ファシリテータ/演劇デザインギルド)

吉田小夏(劇作家、演出家、俳優/青☆組主宰)

【期間】 2011年11月26日(土)~2012年3月24日(土) 全16回

【定員】 15名(先着順)

【参加費】 5,000円

【申込締切】 2011年11月18日(金)

Bコース

1964 消えた〇△□

【進行役】 瀬戸山美咲(劇作家、演出家/ミナモト主宰)

【期間】 2012年1月21日(土)~3月24日(土) 全13回

【定員】 15名(先着順)

【参加費】 5,000円

【申込締切】 2012年1月12日(木)

Cコース

カラダの未来

【進行役】 山田珠実(振付家、ダンサー)

【期間】 2012年1月20日(金)~3月24日(土) 全11回

【定員】 15名(先着順)

【参加費】 3,000円

【締切】 2012年1月12日(木)



地域の物語 2011~2012
3コースによる作品発表

2012年3月25日(日) 時間未定
場所: シアータートラム

全コースのアドバイザー
成沢富雄
(演劇デザインギルド)

申込方法

- (1) 希望コース、(2) 氏名(ふりがな)、(3) 住所、(4) 電話番号、(5) 年齢、(6) 職業、(7) ひとこと、を書いて、郵送、ファックス、または劇場ホームページからお申込み下さい。

お問い合わせ & お申し込み先

世田谷パブリックシアター「地域の物語」係

【住所】 〒154-0004 世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー 5階 世田谷パブリックシアター

【電話】 03-5432-1526

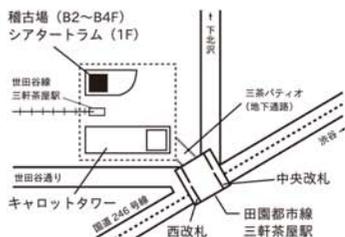
【ファックス】 03-5432-1559

【ホームページ】 <http://setagaya-pt.jp/>

交通: 東急田園都市線「三軒茶屋」下車徒歩2分
東急世田谷線「三軒茶屋」下車すぐ
小田急・東急バス「三軒茶屋」下車すぐ

主催: 公益財団法人せたがや文化財団
後援: 世田谷区

協賛: **Asahi** アサヒビール株式会社 **TORAY** 東レ株式会社



世田谷パブリックシアター